

社会資本整備審議会 道路分科会  
平成30年度 第2回 四国地方小委員会  
議事概要

1. 日時：平成31年2月7日（木） 13：15～14：45

2. 場所：高松サンプォート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

[委員]

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

野々村 敦子 香川大学創造工学部創造工学科 准教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

羽鳥 剛史 愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 准教授

4. 議事内容

(1)四国地方小委員会及び計画段階評価について

(2)計画段階評価

①四国横断自動車道 宿毛～内海

②阿南安芸自動車道 奈半利～安芸

5. 審議結果

四国横断自動車道 宿毛～内海及び阿南安芸自動車道 奈半利～安芸 の計画段階評価について、事務局より提案された対応方針（案）は当小委員会として、妥当と判断する。

6. 主な意見

○対応方針（案）は、よく考えられており異議なし。

○対応方針（案）は、現状の課題を捉えていて良い。

<その他>

【宿毛～内海】

- ・「生活環境への影響を少なく」という意見も多く、今後の調査、設計等で十分に配慮、説明をしてほしい。
- ・新たなアクセス路整備などによる交通事故にも気をつけてほしい。
- ・IC名称を決める際には地域住民の意見をよく聴いてほしい。
- ・走行中に海が見えることがポイントであり、景観に配慮した設計をしてほしい。

【奈半利～安芸】

- ・道路を避難場所として活用できるよう考えてほしい。
- ・開発用地をIC付近に計画することも重要であり、工事中の残土を活かすなど道路計画と連携して、ICを地域の発展に貢献できるよう工夫してほしい。